

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1・2・4・5・8組：保坂 ）

（3・6・7組：金田 ）

使用教科書： （ 高等学校新地理総合、新詳高等地図 ）

教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

【知識及び技能】 現代世界の諸事象について、諸資料の内容を理解し、効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の諸事象について、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標： 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1. 地図と地理情報システム 【知識及び技能】現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムを用いて情報を収集し、まとめる基礎的、基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地図や地理情報システムを利用して、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】地球儀と地図、時差、一般図と主題図、統計地図の読み取りと利用、GISの利用 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人1台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地図や地理情報システムを利用しながら、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追及、解決しようとしている。	○	○	○	6
	2. 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】現代世界の地域構成を示した地図の読図を基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】現代世界の地域構成を踏まえ、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】国家と領域、主な国際組織と結び付きを深める国々、貿易の拡大、交通・通信の発達、グローバル化する観光 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人1台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】現代世界の地域構成を示した地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の地域構成を踏まえ、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追及、解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	3. 自然環境と生活文化の多様性 【知識及び技能】世界の様々な特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の様々な特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活文化の多様性を踏まえ、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】地形と人々の生活、気候と人々の生活、乾燥した大陸と太平洋の島々の生活、モンスーンの影響を受ける地域での生活 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人1台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活文化の多様性を踏まえ、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追及、解決しようとしている。	○	○	○	18
	4. 歴史や宗教、産業と生活文化の多様性 【知識及び技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活文化の多様性を踏まえ、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】イスラームと人々の生活の関わり、移民の歴史と人々の生活の関わり、植民地支配の歴史と人々の生活の関わり、国家体制の変化と人々の生活の関わり、産業力が世界の生活文化に与える影響、地域統合が人々の生活や産業に与える影響 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人1台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活文化の多様性を踏まえ、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追及、解決しようとしている。	○	○		1
	定期考査			○	○		1
3 学期	5. 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】関連し合う地球的課題を踏まえ、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域との結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地球的課題を踏まえ、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】地球環境問題、資源・エネルギー問題、食料問題、都市・居住問題 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人1台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向や課題相互の関連性について大ましく理解している。世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域との結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現に向けて地球的課題を主体的に追及、解決しようとしている。	○	○		6
	6. 自然災害と防災 【知識及び技能】世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、自然災害の備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境と防災について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】日本の地形と気候、地震や津波とその対策、火山と共生する人々の生活、気象災害とその対策、被災への取り組みや被災地への支援 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人1台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。各種の防災・減災情報を収集し、まとめる地理的スキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境と防災について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追及、解決しようとしている。				4
	7. 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の調査・解決方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生活圏の課題について、生活圏内外との結び付き、地域の成り立ちや変容に着目して、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活圏を調査し、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】地域調査の事前準備、地域調査の実施、結果のまとめと発表、考察の方法 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人1台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】生活圏の地理的な課題について、生活圏内外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追及、解決しようとしている。	○	○		1
	定期考査						合計
							70

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1組：大川潤一） （2組：松澤 徹） （3組：松澤 徹） （4組：松澤 徹）

（5組：松澤 徹） （6組：大川潤一） （7組：松澤 徹） （8組：大川潤一）

使用教科書：（『公共』数研出版）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしてい

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1学期	第1章 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】青年期の特徴、哲学の源流思想、宗教、日本の思想及び西洋思想の需要などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自己形成の課題を考察し哲学・宗教・生活文化が人間に与えている影響に気づく。 【学びに向かう力、人間性等】よりよく生きることへの自覚を深める。	第1章 公共的な空間をつくる私たち 青年期と自己形成 人間としての自覚 日本人としての自覚	【知識・技能】・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であること、古代ギリシャや古代中国の思想、世界の宗教、日本人の思想などを理解できている。 【思考・判断・表現】自己形成の課題について考察でき、哲学・宗教・生活文化が人間に与えている影響に気づいている。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよく生きることについての自覚を深められている。	○	○	○	4
	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりをつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って、現代の諸課題を主体的に追究できる。	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 西洋近現代の思想 現代の諸課題と倫理	【知識・技能】近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりをつかんでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って、現代の諸課題を主体的に追究できている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
第2学期	第3章 公共的な空間における基本原理 【知識及び技能】法などの社会規範の役割、民主政治のあり方、日本国憲法の三大原理や第9条の内容、日本国憲法で保障されている権利を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】民主政治における国家と個人のあり方、日本国憲法で保障されている権利と公共の福祉の関係、日本の平和主義のあり方を考える。 【学びに向かう力、人間性等】民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深める。	第3章 公共的な空間における基本原理 民主社会の基本原則 日本社会の基本原則	【知識・技能】法などの社会規範の役割、民主政治のあり方、日本国憲法の三大原理や第9条の内容、日本国憲法で保障されている権利を理解している。 【思考・判断・表現】民主政治における国家と個人のあり方、日本国憲法で保障されている権利と公共の福祉の関係、日本の平和主義のあり方を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	○	○	○	6
	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 【知識及び技能】日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割、行政機能が拡大している現状、選挙のしくみ、政党の役割、地方自治の現状と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】日本の政治のしくみを学習しながら、そこに潜む問題点を捉えながら解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】具体的な事例や判例を通して、さまざまな問題を自分事としてとらえる。	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 日本の政治機構 政治参加と民主政治の課題	【知識・技能】日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割、行政機能が拡大している現状、選挙のしくみ、政党の役割、地方自治の現状と課題を理解できている。 【思考・判断・表現】日本の政治のしくみに潜む問題点を捉えながら解決策を考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】具体的な事例や判例を通して、さまざまな問題を自分の立場で考えてみようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
第3学期	第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方 【知識及び技能】現代の企業、市場経済、各種経済指標、金融・財政のしくみ、戦後日本経済のあり方、産業構造の変化、中小企業や農業、契約の原則、雇用・労働問題や社会保障について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】経済の様々な問題について統計資料などを見ながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられるようにする。	第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方 経済のしくみと市場機構 財政と金融 日本経済の発展と変化 豊かな生活と福祉の実現	【知識・技能】現代の企業、市場経済、各種経済指標、金融・財政のしくみ、戦後日本経済のあり方、産業構造の変化、中小企業や農業、契約の原則、雇用・労働問題や社会保障について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】経済の様々な問題について当家資料などを見ながら考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
	第6章 国際社会の動向と日本の役割 【知識及び技能】国際法の意義、国際連合の組織、冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れ、国際社会の中での日本の役割を理解する。 貿易や外国為替相場、戦後の国際経済の流れ、地域経済統合が進んでいる世界の現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】国際政治・経済の様々な問題について地図・資料などを見ながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会の一員としてどんな貢献ができるか考える。	第6章 国際社会の動向と日本の役割 国際政治の動向 国際政治の課題と日本の役割 国際経済の動向と国際協力	【知識及び技能】国際法の意義、国際連合の組織、冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れ、国際社会の中での日本の役割を理解している。 貿易や外国為替相場、戦後の国際経済の流れ、地域経済統合が進んでいる世界の現状を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】国際政治・経済の様々な問題について地図・資料などを見ながら考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会の一員としてどんな貢献ができるか考えられている。	○	○	○	16
							1
							合計
							70
	定期考査			○	○	○	

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1・2組：戸塚） （3・5・7・8組：太田尾） （4・6組：水野）

使用教科書： （山川出版社『日本史探究 詳説日本史』）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能；

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向け；

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や；

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 前近代史の概観 原始～近世の歴史の展開に関わる基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等を身につける。	・原始～近世の歴史の概観 ・授業プリント・板書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】原始～近世の歴史の展開に関わる基本的な知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】原始～近世の歴史の展開に関わる思考力・判断力・表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】原始～近世の歴史の展開に関わって、主体的に学習に取り組む態度がみられる。	○	○	○	4
	B 近世から近代へ ①国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃蕩に至るまでの経過を理解する。	・開国と幕末の動乱、幕府の滅亡と新政府の発足 ・授業プリント・板書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考・判断・表現】日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	C 近代国家の成立 ①明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ②政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。	・明治維新と富国強兵、立憲国家の成立 ・授業プリント・板書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考・判断・表現】諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	D 近代国家の展開 ①東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ②開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。	・日清・日露戦争と国際関係、第一次世界大戦と日本、ワシントン体制 ・授業プリント・板書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考・判断・表現】議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 近代の産業と生活 ①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ②近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。	・近代産業の発展、近代文化の発達、市民生活の変容と大衆文化 ・授業プリント・板書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 【思考・判断・表現】地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	F 恐慌と第二次世界大戦 ①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ②社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。	・恐慌の時代、軍部の台頭、第二次世界大戦 ・授業プリント・板書 ・一人1台端末	【知識・技能】国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 【思考・判断・表現】ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

	G 占領下の日本 ①戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれにもなう諸改革について、その経過と内容を理解する。 ②戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。	・ 占領と改革、冷戦の開始と講和 ・ 授業プリント・板書 ・ 一人 1 台端末	【知識・技能】保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 【思考・判断・表現】日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安条約・L T 貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	○	○		8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	H 高度成長の時代 ①独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。 ②冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。	・ 55年体制、経済復興から高度経済成長へ ・ 授業プリント・板書 ・ 一人 1 台端末	【知識・技能】冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 【思考・判断・表現】日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	4
	I 激動する世界と日本 ①ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。 ②高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。	・ 経済大国への道、冷戦の終結と日本社会の変容 ・ 授業プリント・板書 ・ 一人 1 台端末	【知識・技能】ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 【思考・判断・表現】日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	社会科 世界史B	単位数	4	対象学年・組	3年 1～8組
使用教科書	教科書： 改訂版「詳説世界史B」(山川出版社)	教科担当者	仮屋園		
教材	教材： 「グローバルワイド最新世界史図説」(第一学習社)				

教科・科目のねらい(目標) 世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察させることで歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質をやしなう。

	月	指導内容	指導目標	評価の観点方法	予定 時数
1 学期	4	先史の世界、オリエントと地中海世界	オリエント文明の盛衰、イラン人の活動、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解させる。	ワークシート (年間を通じて使用)	12
	5	オリエントと地中海世界、アジアの古代文明	大帝国に発展したローマ文明の特徴を理解させる。 南アジア・東南アジアの諸文明について理解させる。	知・技・思・判・表	12
	6	アジアの古代文明、東アジア世界の形成と発展	中国文明の起源と統一国家形成の過程、魏晉南北朝の分裂と唐宋の再統一について理解させる。	定期考査	16
	7	内陸アジア世界の変遷、イスラーム世界の形成と発展	モンゴルが支配したユーラシア世界について理解させる。イスラーム世界成立の背景と発展の過程を理解させる。		8
					1学期 48
2 学期	9	ヨーロッパ世界の形成と発展1	地中海世界分裂後の東西ヨーロッパの形成について理解させる。	知・技・思・判・表	12
	10	ヨーロッパ世界の形成と発展2 アジア諸地域の繁栄1	十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解させる。明清帝国の盛衰を通して東アジア世界の動向を理解させる。	定期考査	16
	11	アジア諸地域の繁栄2 現代の世界1	トルコ・イラン世界、南アジアに成立したイスラーム帝国の動向と社会・文化の特徴を理解させる。 冷戦後の世界の動きを理解させる。	知・技・思・判・表	16
	12	現代の世界2	世界で多発する地域紛争と紛争解決や軍縮の試みなどについて理解させる。	定期考査	12
					2学期 56
3 学期	1	現代の世界3	科学技術の発達と現代文明の諸問題について考察させる。		12
	2	入試問題演習			16
	3				8
					3学期 36 合計 140

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	地理歴史科・日本史B	単位数	4	対象学年・組	3 年選択
使用教科書 教材	教科書:詳説 日本史B(山川出版社) 教材:新詳 日本史(浜島書店) 新詳述 日本史史料集(実教出版) 授業プリント	教科担当者		水野 圭太	
教科・科目のねらい(目標) わが国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させるとともに、年表、地図その他の資料を一層活用し、歴史を考察したりその結果を表現したりする技能を段階的に高めていく。 また、資料の特性に着目させ複数の資料の活用を図り、資料に対する批判的な見方を養うと共に、解釈の多様性に気付かせる。					
月	指 導 内 容	指 導 目 標		評価の観点 方法	予定 時数
4	日本文化のあけぼの 文化の始まり～古墳とヤマト政権	考古学の成果により判明した各時代の文化の特質と変遷を大陸との関係に着目し把握させる		関心・意欲・態度 授業プリント ワークシート	12
5	律令国家の形成① 飛鳥の朝廷～平城京の時代	律令国家の成立に至る政治と外交の動向を把握させ、律令に基づく統治について理解させる		思考・判断	12
6	律令国家の形成② 平安初期～貴族政治と国風文化	改革の推移を踏まえ律令制の変質と摂関政治の成立過程と推移を理解させる		資料活用の技能・表現 知識・理解	16
7	中世社会の成立 院政と平氏～武士の社会 蒙古襲来	院政期の動向を踏まえ、鎌倉幕府が東国政権から全国的武家政権に成長する過程を理解させる 蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退へ繋がっていくことを理解させる		定期考査	8
8	(夏季休業)				
9	武家社会の成長 室町幕府の成立～戦国大名	南北朝の動乱から幕府の成立と安定について考察させ幕府の動揺と下克上の進展を理解させる		関心・意欲・態度 授業プリント ワークシート	12
10	幕藩体制の成立 織豊政権～鎖国	織豊政権から江戸時代にかけての幕藩体制の成立の推移を外交の推移を踏まえ理解させる		思考・判断	16
11	幕藩体制の安定 幕政の安定・経済の発展	平和の到来と経済の成長、文治政治の推移について相互関係を踏まえて理解させる		資料活用の技能・表現 知識・理解	16
12	幕藩体制の動揺 幕政の改革	幕藩体制の動揺の原因を社会・経済・外交の諸側面から把握させ、改革の推移を理解させる		定期考査	12
1	国公立二次 論述指導 (個別指導)			関心・意欲・態度 授業プリント ワークシート	12
2	国公立二次 論述指導 (個別指導)			思考・判断	16
3	国公立二次 論述指導 (個別指導)			資料活用の技能・表現 知識・理解 定期考査	8
					合計 140

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目		地理歴史科 地理B		単位数	2	対象学年・組	3年選択者
使用教科書	教科書：	新詳地理B(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、地理統計(帝国書院)、新詳地理資料COMPLETE(帝国書院)、データブックオブザワールド(二宮書店)、ウィニングコンパス(とうほう)		教科担当者		金田 亜妃子	
教材	教 材：						
教科・科目のねらい(目標)		地形や気候などの自然環境、農工業をはじめとする産業、人口、都市と村落、生活文化、民族などに関して、系統地理的に考察し、現代世界の地理的事象に関する理解を深める。					
月	指 導 内 容		指 導 目 標			評価の観点方法	予定 時数
4	地理の基礎知識		地理を学ぶにあたって、地球や自然などに関する基本的知識を理解する。			思・技・知 定期考査	6
5	世界の地形		生活の基盤となる地形の重要性を理解し、地形の特徴と人間生活との関わりについて理解する。				6
6	世界の気候・植生・土壌		気候環境を形成する大気大循環の理解を前提として、世界の気候と植生、土壌との関係を理解する。				8
7	世界の農業・林業・水産業		農業・林業・水産業の立地条件・分布を学び、各地域の特色を自然環境と関連付けて理解する。				4
8							1学期 24
9	世界の工業 エネルギー資源		工業の立地条件・分布を学び、各地域の特色を理解する。エネルギー資源の分布を理解する。			思・技・知 定期考査	6
10	村落・都市・食料		村落・都市の立地条件を理解するとともに、世界の人口・食料に関する問題を考察する。				8
11	交通・通信・貿易		交通・通信手段を通じた世界の結びつきの現状・背景を学び、あわせて国家間の結びつきを理解する。				8
12	国家と民族・文化 地域開発		生活文化と自然環境との結びつきを学び理解する。民族問題や地域開発をめぐる問題を考察する。				6
							2学期 28
1	1年間のまとめ		1年間の学習を振り返るとともに、系統地理学習の総まとめをする。			思・技・知 定期考査	6
2	1年間のまとめ		1年間の学習を振り返るとともに、系統地理学習の総まとめをする。				8
3	1年間のまとめ		1年間の学習を振り返るとともに、系統地理学習の総まとめをする。				4
							3学期 18 合計 70

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目		地理歴史科 地理B(演習)		単位数	2	対象学年・組	3年選択者
使用教科書	教科書：新詳地理B(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、地理統計(帝国書院)、新詳地理資料COMPLETE(帝国書院)、データブックオブザワールド(二宮書店)、ウィニングコンパス(とうほう)			教科担当者		保坂 泰彦	
教材	教 材：						
教科・科目のねらい(目標)				現代世界の諸地域を、地理的事象や歴史的事象を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的理解を深める。地理情報や地図を活用して、地理的な見方や考え方を培い、地理的事象を多面的に考察する。			
月	指 導 内 容		指 導 目 標			評価の観点方法	予定 時数
4	世界地誌の基礎知識		地理を学ぶにあたって、世界の国や地域に関する基本的知識を理解する。			思・技・知 定期考査	6
5	地理情報と地図 地図の活用と地域調査		球面である地球と地図との関係について学ぶとともに、地図を読み解く地理的技能を身につける。				6
6	世界の諸地域 東アジア、東南アジア		東アジア、東南アジア地域の自然・生活・文化を、系統地理の知識と関連付けて学び、理解する。				8
7	世界の諸地域 南アジア、中央・西アジア		南アジア、中央・西アジア地域の自然・生活・文化を、系統地理の知識と関連付けて学び、理解する。				4
8							1学期 24
9	世界の諸地域 アフリカ、ヨーロッパ		アフリカ、ヨーロッパ地域の自然・生活・文化を、系統地理の知識と関連付けて学び、理解する。				6
10	世界の諸地域 アメリカ		アメリカ地域の自然・生活・文化を、系統地理の知識と関連付けて学び、理解する。				8
11	世界の諸地域 オセアニア		オセアニア地域の自然・生活・文化を、系統地理の知識と関連付けて学び、理解する。				8
12	世界の諸地域 日本		日本の自然・生活・文化を、系統地理の知識と関連付けて学び、理解する。				6
						思・技・知 定期考査	2学期 28
1	1年間のまとめ		1年間の学習を振り返るとともに、地誌学習の総まとめをする。				6
2	1年間のまとめ		1年間の学習を振り返るとともに、地誌学習の総まとめをする。				8
3	1年間のまとめ		1年間の学習を振り返るとともに、地誌学習の総まとめをする。				4
							3学期 18 合計 70

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	公民科 倫理	単位数	2	対象学年・組	3年
使用教科書	教科書:「高校倫理」(実教出版)	教科担当者		大川潤一	
教材	教 材:「倫理資料集」(第一学習社)				
教科・科目のねらい(目標)					
文科系が得意で大学でも倫理に関係する分野に進学する者、理科系進学希望でセンター試験対策を期待する者、純粋に哲学や思想に興味をもつ者など、多様な生徒が選択していることを前提にして、全般にわたる基本的な倫理、思想を講義し、それぞれの生き方・在り方に有用な知識、考え方を習得させる。					
また大学入試に対応できる力を問題演習その他によって育ててゆく					
月	指 導 内 容	指 導 目 標		評価の観点方法	予定 時数
4	人間としての自覚 源流思想	ギリシア思想 自然哲学者, ソフィスト, ソクラテス		思・技・知 定期考査	26
5		プラトン, アリストテレス, ヘレニズム,			
6		キリスト教思想 旧約聖書, イエス, キリスト教の展開, イスラム思想			
7	日本人としての自覚	仏教思想, 古代インド, ブッダ, 仏教の展開, 中国		思・技・知 定期考査	24
8		思想, 儒家, 老荘思想について知る			
9		西洋思想の受容と展開, 西洋思想の受容, 近代思想の展開, 多様な文科と共生の課題, 科学技術の発達、民主主義社会、人間の尊厳, ルネサンス, 宗教改革, 理性と人間, 人格主義, 民主社会と人間の自己実現, 科学技術と人間について知る			
10	現代の諸課題と倫理	生命倫理、環境の倫理、高度情報化社会の問題、平和問題について知る		思・技・知 定期考査	20
11					
12					
1					
2					
3					
合計					
					70

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	公民科 政治・経済	単位数	2	対象学年・組	3年 1～8組の 選択者
使用教科書 教材	教科書:「高等学校 現代政治・経済」清水書院 教 材:「政治・経済資料集」清水書院	教科担当者		松澤 徹	
教科・科目のねらい(目標)					
1. 現代の政治、経済、国際関係などに関するさまざまな問題を知り、その内容・背景などを理解する。 2. 社会的な問題に主体的に取り組む姿勢や、社会的事象を多面的に考える力を育てる。					
月	指 導 内 容	指 導 目 標	評価の観点方法	予定 時数	
4	1. 現代の経済	現代経済のしくみと特質、金融と財政のしくみ、日本経済のあゆみと現状、労働と社会保障について、総合的な理解と入試に対応できる学力をつける。	・政治経済の学習が、一人の公民として社会に参加する態度形成につながっているか。(関心・意欲・態度)	20	
5					
6					
7					
8	2. 国際政治と日本	国際社会と国際法、国際連合と地域連合、国際政治の動向、核兵器と軍縮、国際社会での日本の役割について、総合的な理解と入試に対応できる学力をつける。	・基礎基本の知識および大学入試に対応できる学力が身につくか。(知識・理解)	10	
9					
10					
11					
12	3. 世界経済と日本	国際分業と貿易の利益、外国為替と国際収支のしくみ、グローバル化の進展と国際経済、アジア経済と南北問題、国際経済における日本の役割、および環境と人口について、総合的な理解と入試に対応できる学力をつける。	・資料や統計を読み取り、そこから情報を得た情報をわかりやすく伝えられるか。(資料活用・表現)	16	
1					
2					
3					
4	4. 現代の政治	民主政治の基本原則、日本国憲法と国民権、日本国憲法と平和主義、日本国憲法と人権保障、日本の政治機構、現代日本の政治について、総合的な理解と入試に対応できる学力をつける。 1年次の現代社会で既習の政治に関する諸問題を入試問題演習で確認しながら総合的な学力の獲得を目指す。	・政治経済の現象について、原因・結果などを分析できるか。(思考・判断・表現)	16	
5					
6					
7					
8	5. 現代社会の諸課題	現代日本の政治や経済の諸課題、国際社会の政治や経済の諸課題について、より良い解決方法を考える力を養う。	・定期考査を中心に授業参加を加味して評価する。	8	
9					
10					
11					
12				第 2 学 期 計 32	
1				第 3 学 期 計 8	
2				合計 70	

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	地歴科 世界史演習	単位数	2	対象学年・組	3年 1～8組
使用教科書	教科書： 改訂版「詳説世界史B」(山川出版)	教科担当者	石井		
教材	教 材： 「グローバルワイド最新世界史図説」(第一学習社)				

教科・科目のねらい(目) 世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視点から考察させることで歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質をやしなう。

月	指 導 内 容	指 導 目 標	評価の観点方法	予定 時数
4	アジア諸地域の動揺1	オスマン帝国の動揺とアラブ民族主義の動向について理解させる。	ワークシート (年間を通じて使用)	4
5	アジア諸地域の動揺2	インドの植民地化と東南アジア諸国の動向、ヨーロッパの干渉による清朝の動揺と近代改革について理解させる。	知・技・思・判・表	8
6	帝国主義とアジアの民族運動1	帝国主義列強の国家・社会の変化、列強による世界各地の植民地化、従属地域の抵抗について理解させる。	定期考査(6.7月)	8
7	帝国主義とアジアの民族運動2	欧米列強の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解させる。		6
8			1学期 26	
9	二つの世界大戦1	第1次世界大戦とロシア革命、戦間期の欧米・アジア諸地域の動向について理解させる。	知・技・思・判・表	6
10	二つの世界大戦2	世界恐慌を期に第2次世界大戦に向かう世界の動き、第2次世界大戦の経過と米ソの地位の高まりを理解させる。	定期考査	6
11	冷戦と第三世界の自立1	第2次世界大戦後の米ソを中心とした冷戦体制の成立、アジア諸地域の独立の過程を理解させる。	知・技・思・判・表	8
12	冷戦と第三世界の自立2	1950～60年代の新しい動き、国際政治や経済が多極化に向かう状況を理解させる。	定期考査	8
			2学期 28	
1	冷戦と第三世界の自立3	第三世界の躍進と米ソ両大国の動揺、ドルショック・オイルショック以降の世界の動向を理解させる。		8
2	入試問題演習			8
3			3学期 16	
				合計 70

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	地歴科 日本史演習		単位数	2	対象学年・組	3年 1～8組				
使用教科書 教材	教科書:詳説 日本史B 山川出版社 教 材:新詳 日本史 浜島書店 授業プリント 新詳述 日本史史料集 実教出版		教科担当者		①戸塚 ②戸塚 ③戸塚					
教科・科目のねらい(目標) わが国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させるとともに、 年表、地図その他の資料を一層活用し、歴史を考察したりその結果を表現したりする技能を段階的に高めていく。 また、資料の特性に着目させ複数の資料の活用を図り、資料に対する批判的な見方を養うと共に、解釈の多 様性に気付かせる。										
月	指 導 内 容		指 導 目 標							
4	二つの世界大戦とアジア 恐慌の時代 軍部の台頭	恐慌の原因や状況を理解し、その後の軍国主義 への道を展望させながら、多角的に考察させる 日中戦争の原因と戦争に対する日本の対応を分 析し、対米戦争へ向かったことを考察させる 戦後の民主化と非軍事化の進展の様子を具体 的に理解させ、戦後日本の枠組みを考察させる 保守政治の安定を多角的に理解させるとともに 高度経済成長の原因や影響、問題を考察させる 1970 年代以降の日本の政治経済が直面した課 題について理解させる	ワークシート (年間を 通じて使用)	6	6	8				
5										
6										
7	第二次世界大戦						思・技・知 定期考査	6		
8										
9	占領下の日本 占領と改革・冷戦の開始と講和								思・技・知 定期考査	6
10	高度成長の時代 55 年体制・復興から高度成長へ						思・技・知 定期考査	8		
11	激動する世界と日本									
12	経済大国への道								6 6 4	
1	共通テスト演習 論述指導						合計 70			
2										
3										